



「ひと」として大切なこと

施設長 浅見 僚子

今年も残すところ、あと10日になりました。皆様にとって、今年はどうな年でしたでしょうか。たとえ小さな一步でも、成長や希望が見いだせる出来事がありましたでしょうか。私事ではありますが、4月からたんぽぽに着任させていただいたことは、私自身の人生にとって有難い素晴らしい出会いとなりました。新しい世界に飛び込んだことで視野が広がり、福祉の現場が置かれている現状やその大切な役割に気が付き、「幸せとは」「命とは」など、改めて考えることも多々ありました。そして今、心に強く願うのは、『たんぽぽが、利用者の皆様が笑顔で毎日通える楽しい居場所でありますように』という思いです。利用者第一の温かい支援を通して、たんぽぽを大好きになってもらいたいと願っています。

支援は人と人とのかわりであり、支援には人間性が表れます。邪心のない利用者さんに、自分の本性を見抜かれるような怖さを感じることがあります。この歳になっても、まだまだ人として成長していきたいと思います。10年ほど前、書店で何となく手に取り、その後、私の人生のバイブルとも言える書になっているのは、渡辺和子さんの著書です。初めて読んだ時、人生の指針を示してくれるメンターに出会ったような満たされた気持ちになりました。数年前にベストセラーになったものも数冊あり、ご存知の方も多いと思います。どの著書を読んでも、私にとっては珠玉の言葉があふれています。

渡辺和子さんのお父様、渡辺錠太郎氏は二・二六事件の犠牲者です。渡辺和子さんは9歳の時、目の前で父親が銃撃され、亡くなるのを目撃されています。同じ部屋で、立てかけてあった座卓に隠れていたそうです。最愛の父を目前で暗殺されるという経験をしていながらも、数十年たった時、次のように語っています。「今思えば、たった一人で父を死なせることなく、その最期をみとることができたのは幸せでした。戦後、相手の遺族もずっと苦しい思いをしてこられた。決して自分だけが苦しきただけではないですから。」渡辺さんは客観的に見れば、大変不幸な出来事に遭遇しているわけですが、憎しみや怒りを超えた、人としての強さ、心の深さを感じます。人を許した時、許した人は自由になれる、とも渡辺さんは語っています。

また、渡辺さんは世の中に雑用はない、とおっしゃっています。「その仕事をつまらないと思うのも、その仕事を通して自分が豊かになるのも、皆さん次第です。この世の中に雑用はありません。あなたが用を雑にした時に雑用が生まれるのです。」この言葉は、面倒な仕事を抱えた時、大量の仕事に押しつぶされそうになった時、くじけそうになる時などに私の心を支えてくれるお守りになっています。

渡辺和子さんは、30代半ばでノートルダム清心女子大学の学長、その後理事長を歴任されました。でも、順風満帆の人生ではありません。50歳でうつ病、68歳で膠原病、その後、薬の副作用による骨粗しょう症で圧迫骨折を繰り返し、身長はが14センチも縮む試練を与えられています。それでも、「人生には思いがけない失敗や病気などでぽっかり穴が開く時がある。その時に嘆いたり悲しんだりするのは人の常ですが、穴が開いたからこそ見えてくるものがある。自分にとって何のために開いた穴なのか発想を変えて考えるようにしよう。」「つまりいたからこそ今がある。今日が私にとっては一番若い日。今日より若くなることはないのだから、今日を輝いて生きていきたい。いつもそう思って過ごしています。」という力強い言葉を残しています。渡辺さんの言葉に、私はいつも励まされています。

『霧の中を行けば おぼえず衣しめる』という言葉があります。霧の中を歩いて行くと、知らず知らずのうちに衣がしめっていきます。人生もこれと同じで、どんな環境にいて、どんな人と出会い、どんなことに触れているか。それが、いつしかその人の身に染みついていくということです。来訪者から、たんぽぽは家庭的な温かきがあって、雰囲気がとても明るいと、よく言われます。利用者も職員も共に成長できる場所、大切な居場所としてのたんぽぽで人間性を磨きながら、今後どんな素敵な霧を発生させるか、今年の振り返りをしっかり行いたいと思います。

1月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 冬季休暇	2 冬季休暇	3 冬季休暇	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 成人の日	15	16	17	18	19 開所日
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

たんぽぽナイチンゲール



〈風邪対策に水分補給〉

水分補給していますか？



汗をかきにくい寒い季節でも、空気が乾燥していると知らないうちに身体は乾いてしまいます。風邪やインフルエンザの原因となるウイルスは、乾燥した状態で活発に活動します。風邪対策の王道であるうがい・手洗いに加えて「水分補給」で冬を元気に過ごしましょう。

看護師 杉本 さおり

たんぽぽまつりレポート



11月3日のたんぽぽまつりは、天候にも恵まれ大勢のお客様と、笑顔溢れる一日となりました。今年度は、近隣の事業所から模擬店を出して頂いたりボランティアの皆様や、保護者様のご協力のもと、職員もゆとりをもってご利用者とともに、お祭りを楽しむことが出来ました。またケガや大きなトラブルもなく過ごせたのは、お一人お一人のご協力あってこそのことと思います。本当にありがとうございました。



自主生産品の販売も大盛況で売り上げも前年度以上！ありがとうございます！！

今年度は司会するご利用者を項目ごとに変更しながら、ご利用者一人一人が役割を持って参加してくださいました。



ゲームコーナーに加えて、今年度は作業体験コーナーを設け、日頃ご利用者がどのような作業を行っているのか紹介することも出来ました♪





豊島高校マジック部のみなさんは、ステキなマジックを披露してくださいました。

太鼓クラブの発表は外部のお客様もお目当てで来るぐらい迫力ある演奏発表でした。



音楽クラブの発表では手話を用いた歌や綺麗な音色のハンドベル演奏とお客様を魅了し「感動した」とお声かけいただきました。



ボランティアさんへ感謝！

今年度は初参加の6名を加え、毎年お世話になっている顔馴染みのボランティアさんまで、総勢19名の方にご協力いただきました。こうして毎年たんぽぽの綿毛が飛んでいくように輪が広がっています。皆さん「何か役に立てれば」という思いで参加していただき、ご利用者や地域の方にも楽しんで頂く事ができました。ボランティアが初めてという方もいらっしや、今回を機に新たな世界が広がるきっかけになれば幸いです。本当にありがとうございました。

